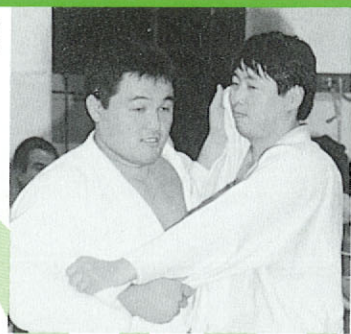


柔道の技も心も世界に伝えたい。



東海大助教
山下泰裕

イギリスの日本人学校で小・中学生を指導。
(1986.12)

ロス五輪の金メダリストで県民栄誉賞第一号の山下泰裕氏(29)に近況などを尋ねました。山下氏は現在、日本体協のスポーツ指導者在外研修員としてイギリスへ留学中です。

「イギリスへ渡られて約十ヶ月。もうそちらの生活には慣れましたか。」

「はい、すっかり慣れました。二人共こちらの水に合ったようです。ロンドンに着いて三日目か四日目に「なんだかもう三、四ヶ月もずっと住んでいるみたいだね。」って女房とも話したくらいでして「まあ、条件に恵まれているせいもあります。」

「現在どのような活動をなさっているのですか。」

「日本柔道の強化のため、ヨーロッパでの練習方法や普及対策などを実地に研修しています。イギリス国内はもちろぬヨーロッパ各国へ出かけて実技指導や情報収集に励んでいます。」

「では、お出かけになる事が多いんですね。」

「そうです。ロンドンの家にはいるのは、月のうち一週間か十日位です。明日から一週間は西ドイツへ行きます。」

「それでは奥様がお淋しいでしょうね。」

「いえ、大丈夫です。一緒に行きますから。」

「言葉の方はいかがですか。」

「英会話のマスターも大きな目標の一つです。二月までの半年間は英語学校にも通いました。私は柔道の技だけではなくその心を世界に伝えたいと思っていますのですが、そのためには語学力は欠かせません。また、指導者として現役時代以上に、世界の常識・国際感覚を養うことが必要だと思っています。」

「そういった点での奥様の手助けなどもおありでしょうか。英会話は私よりもうまいですよ。だけど、それをあて

にしている、自分が伸びません。あえて世話にならんようにしています。何事も勉強だと思っていますから、困った時も日本人を探すのではなく、現地の方に聞くようにしています。」

「お忙しい毎日のようですが、ご自分の時間などお持ちになりますか。」

「日本では、休みなんてまず考えられなかったのですが、こちらでは女房の買い物と一緒に買ったにも出かけた。ミュージカルやコンサートには、どれもこれも新鮮なことばかり。これからはクラシックコンサートやバレエ、それにウインブルドンテニスなども是非観てみたいですね。一年間という限られた時間。せつかくのチャンスですから、こちらでしかできない事を思いっきりやりたい。視野も人間の幅も広がったような気がします。」

「ところで二世誕生日近ということですが、七月の終りに出産の予定ですが、とても元気なので安心していきます。」

「では最後に熊本の皆さんのメッセージを。」

「帰国までの二ヶ月、どん欲に世界を吸収し、日本の子供達に伝えたいと思っています。八月二十日頃帰国の予定です。ぜひ熊本へ帰りたいたいと思っています。郷里の味がなくなりました。熊本ラーメンも食べたし。最後になりましたが、元気でがんばってください!!」

「どうもありがとうございました。親子揃ってのお帰りを心からお待ちしています。」



インターナショナルトレードキャンプ(国際柔道合宿)でベルギーチームと。(1987.2)

熊本銀座五丁目



「熊本情報の発進ステーション」として

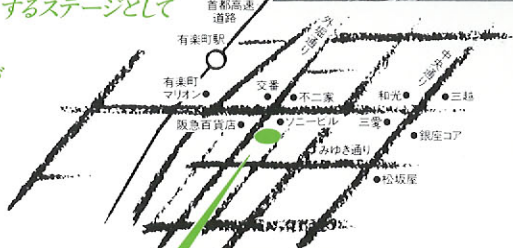
今年3月16日にオープンした「銀座熊本館」。

熊本の「生」の姿を、東京の人たちに、

そして全国へとPRするステージとして

さまざまなイベントが

展開中です。



銀座熊本館

五日間で約三千人！ 人吉球磨観光物産展 「新相良藩春の最前線」 にぎごう。

四月七日から十二日までは、人吉球磨の若者グループ「新相良藩行動隊」が、「新相良藩春の最前線」と銘打って観光物産展を行いました。

木工品、郷土が
ん具、山菜加工品、
無農薬野菜、球磨焼
酎など人吉球磨地方
の特産品の展示・即売
を行うとともにフロア
全体を茶店風に構成
し、茶菓、焼酎のサービ



スコナーを設営。銀座に突然現われた「茶店」に道行く人も足を止め、多くの人が賑わいました。

会期の五日間に約三千人が訪れ、大盛況のうちに春の最前線は幕を閉じました。が、東京で「くまもと新相良藩」ブランドを強烈にアピールするとともに、新しい販路の拡大にもつながったと思われ。新相良藩では、今後更に新しい商品を開発し、今秋には秋の味覚をふんだんに取り入れた「新相良藩紅葉最前線」を再び実施することとしています。今後県内の市町村をはじめ、企業、個人、グループによるいろいろな「くまもと」が、ここ東京銀座五丁目に彩られます。

●ご利用のお申し込み、お問い合わせは

熊本県東京事務所広報経済課

〒104 東京都中央区銀座五丁目

三十一十六
☎03(572)5022

熊本県総務部広報課

〒862 熊本市水前寺六丁目

十八一
☎096(383)1111

編集後記

▷ピカピカの一年生も、ランドセル姿がすっかり板についた頃。我が広報課も新編集スタッフによる「くまもとの風」がやっと出来上がりました。

より親しまれる広報誌をめざして表紙をはじめ、全ての企画をリフレッシュ。いわば全店大改装をした「風」いかがでしたでしょうか。

▷表紙写真は、大津町在住の写真家宮井政次さん。詩は「現代」同人の橋洋子さん(熊本市)にお願いしました。

今年度の表紙は、宮井さんに阿蘇の様々の表情・素顔を追っていただく予定です。どうぞお楽しみに。

▷ママさん特派員に中村弘子さん、永田英津子さんが新たに加入されました。お2人を加え6名のメンバーで今年も活動開始。

本誌では、「くまもと最前線」に毎回登場していただきます。主婦の目、女性の目を生かしたフレッシュなレポートにご期待ください。

▷それにしても、この2ヶ月余り、正に産みの苦しみでありました。といっても出来てしまえば、「あっそう。変わったの。」の一言で片づけてしまわれるのでは…と思う不安な毎日です。皆様の率直な意見をお聞かせください。

本誌の年間購読を希望される方は、1年分の郵送料1,440円(240×6回)分の切手を同封のうえ、6月末日までに下記へお申し込み下さい。
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1 熊本県広報課「くまもとの風」係